

ひきセン通信 2020 第1号

ひきセン通信は新潟市ひきこもり相談支援センターが発行する不定期刊行物です

新しい年を迎えて

新年、おめでとうございます。今年はおリンピックイヤーという特別な年でもあります。ひきこもり相談支援センターも職員一同気を引き締めてスタートします。今年もよろしくお願いいたします。

さて、一昨年の11月から始めました月1回開催の女性の居場所は昨年利用者の皆様によって毎回楽しく開催することができました。この企画をもっとたくさんの方々知って頂くために今回のひきセン通信は「女性の居場所」の様子をお伝えしたいと思います。

「女性の居場所」は毎月1回、水曜の午前中10時から12時までの開催です。(1月22日、2月26日、3月25日)場所は通常の居場所を兼ねている場所と同じ万代市民会館5階、(501号室)です。人数制限もなく参加したい人が集まる場

所です。昨年の例からいうと1回5〜7名くらいの方が参加されていました。年齢層は様々ですが、20代〜50代の方々が来ています。1回ごとにテーマを決めているわけではなく、その日集まった皆さんで話したいことや、近況報告から話題が広がっていきます。今迄話題になったことの多くは「親の介護」や「親を見送った後の心」「親子関係」「自分の生き方」「趣味」などでした。

特に「親の介護」などは娘が担うことも多いため、自分の自立よりも介護を優先せざるを得ないこともあり苦労話は共感することも多く、2時間という時間があつという間に過ぎてしまいます。居場所では自分の「今」を共感してもらえることで皆さん穏やかな表情で過ごされています。

先回は参加者の中からの「お化粧の方法を知りたい」という声を受けて、どんな形で出来るか考えたところ、

居場所に参加してくださる皆さんが以前の職場での経験を活かして皆さんにメイク方法を教えましょうかということになり、早速100均で道具を揃えて「身だしなみ講座」を開催しました。参加した皆さんは最新のメイク道具に感心しながら楽しく終えることが出来ました。今後

もこんなことを知りたい、やってみたいという声を聞きながらいろいろなことをやっていきたいと思えます。

興味のある方はぜひ参加してください。お待ちしています。(矢尾板)

※時折参加者の方が自分で作ったケーキを持参して振舞ってくれます。この日はイギリス・スコツ



トランド地方の、ダンディーケーキでした。

